

常なる磐

つねなる いわ

令和3年3月5日(金)

その3

◇ 仲良きことは 美しきかな

2日、6年生主催の「なかよしレク」が行われた。

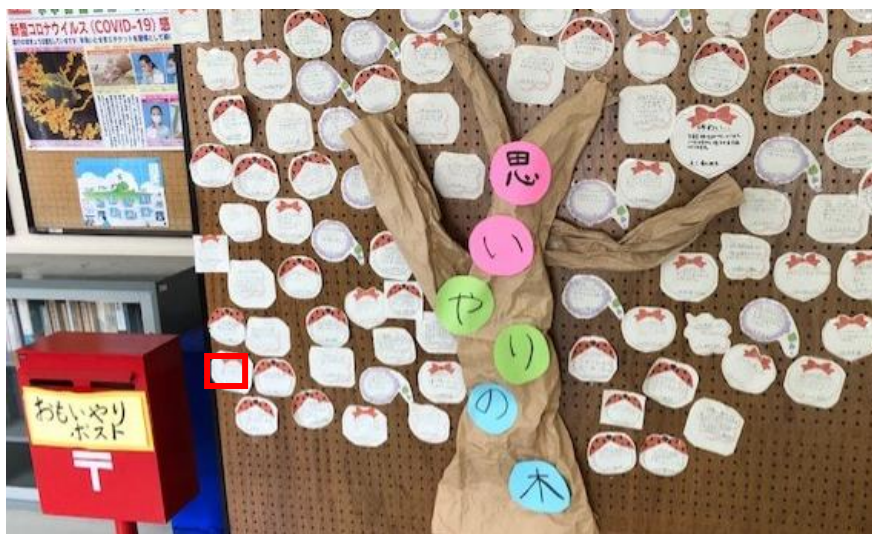
全校児童を6つのグループに分け、出来得る限り混合学年となるように配慮するなど、皆が笑顔になる温かい企画であった。緊急事態宣言が明けたとはいえ、この時期に、全校児童が一堂に会することができるのは、本校ならではの光景である。

最も注意した点は、「密にならないこと」であったらしい。細かな配慮に最高学年としての自覚と責任が垣間見えた。

大成功の「なかよしレク」。マスク越しの下級生の笑顔が全てを物語っている。



もうひとつ紹介したい代表委員の企画がある。昇降口を抜けた最も目につきやすい位置に掲示された【思いやりの木】だ。本校の「おもいやりの木」は、感謝の思いを綴ったメッセージカードで花を咲かせ、梅や桜より先に満開だ。



人権週間との日程的なずれもあり、てっきり毎年行われているものかと思ったら、そうではないらしい。後期代表委員の「とっておき企画」であった。

いずれのメッセージもあたたかく、ほほえましく、味わいがあってよいが、最も

よい点は学年をまたがったメッセージが多いことにある。学年を越えた深く、温かなつながりが存在する証である。

そして、1枚のまさかのカードに驚いた。

「児童の思いやり」に心が救われた。「ありがとう」

